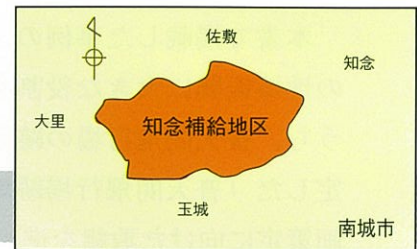


知念補給地区（南城市）

- 1 基地名：知念補給地区
- 2 所在地：南城市玉城字親慶原・玉城字垣花・玉城字仲村渠・玉城字玉城
・玉城字中山・玉城字富里・玉城字屋嘉部・玉城字喜良原
- 3 返還面積：1,795千㎡

4 主な沿革

- ・昭和20年：米軍の占領と同時に強制接收
- ・昭和49年：1,795千㎡が全部返還



5 接收の経緯

この地域は、旧玉城村の8部落にまたがり、接收前はキビ作を中心とした農地と原野であった。米軍の接收後は、米海軍司令部として使用された後、陸軍の管理下に移され、兵舎、モータープール、倉庫、米軍人軍属等の住宅に使用されていた。極東戦略の特殊部隊の使用基地として、その機能や性格は秘密にされていた。

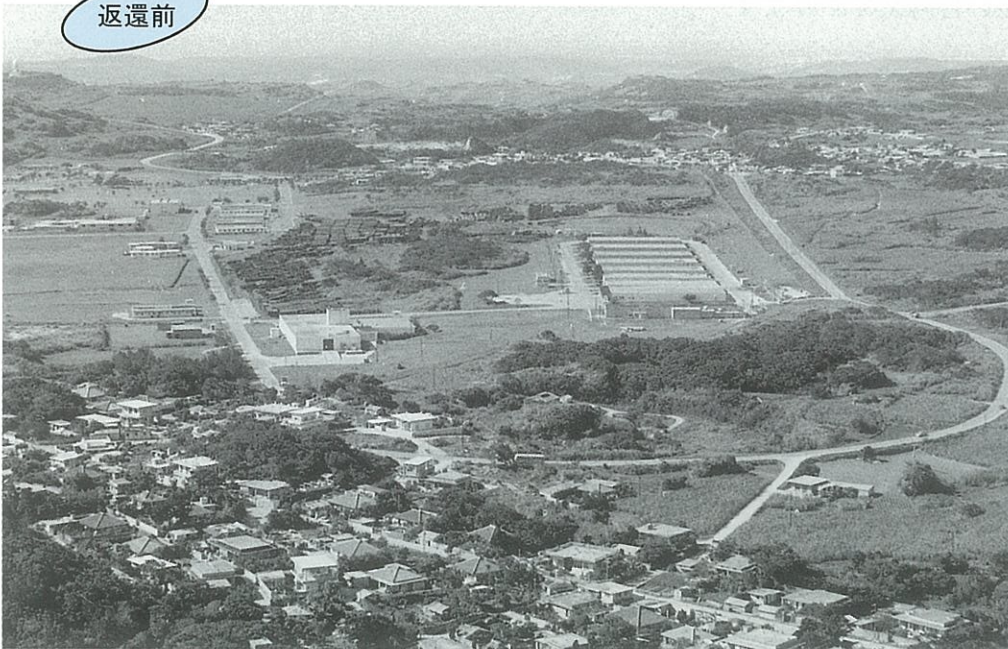
6 返還の経緯

ベトナム戦争後、漸次その機能を縮小し、事実上遊休化しつつあったが、昭和49年10月に1,795千㎡が返還され、全部返還となった。

7 現在の土地利用状況

返還跡地は、公園、ゴルフ場、福祉施設、体育センター等が整備され、村民の地域活動の場、憩いの場として活用されている。

返還前



昭和47年5月(写真提供:沖縄タイムス)

返還後



平成20年5月(写真提供:沖縄タイムス)